

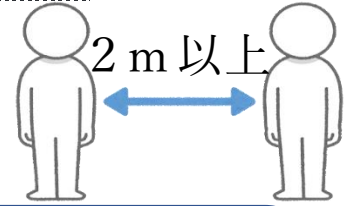
マスク着用について

厚労省は夏に向けて、気温、湿度が高いと熱中症のリスクが高まることから、屋外での人との距離がある

場合、少なくとも2メートル以上確保できている場合には、マスクを外すことを推奨



◇日常生活におけるマスクの外せる場面



屋外の散歩、自転車の移動、運動時など、

屋外で距離は十分とれない場合においても

会話が少ないかほとんどない場合は必ずしも必要ない



◇子どものマスクの着用について

2歳未満の乳幼児は、マスク着用を推奨しない

2歳以上の就学前の子どもは、本人の体調が優れず、持続的なマスクの着用

が難しい場合は無理に着用させる必要はなく、

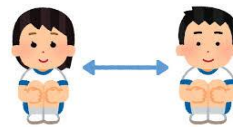
マスクを着用する場合は、保護者や周りの大人が子どもの体調に十分注意した上で着用する



◇小学校などの学校生活において

熱中症リスクが高い時期の登下校時はマスクを外すこと推奨

屋外の体育の授業や外遊びの時も、マスクは不要



マスク着用する場面については、屋外において他者と距離がとれず会話を行う場合、また、高齢者等との面会時や病院内など、重症化 リスクの高い者と接する場合にはマスクの着用を推奨するとしています。

熱中症予防と合わせて、ひきつづき基本の感染予防対策の徹底をお願いします。



(文責) 常務理事 大西昭彦
(作成) 保健師 大谷伊紗